

「こおりやまの米」通信



郡山市
イメージキャラクター
「かくとくん」

編集：郡山市

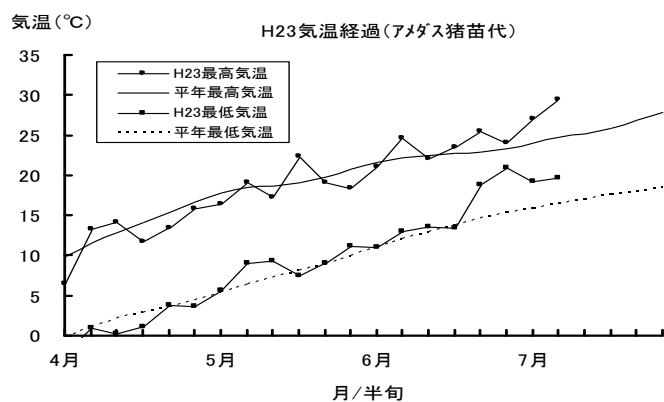
JA 郡山市 (TEL. 921-0724)

NOSAI 郡山田村 (TEL. 933-3307)

県中農林事務所農業振興普及部 (TEL. 935-1310)

発行：郡山市農作物生産対策協議会 (郡山市営農推進課 TEL924-3761)

がんばろう ふくしま！



7月15日生育調査結果

品種	年次	草丈 cm	茎数		葉令
			株あたり	m ² あたり	
あきたこまち	本年	63.2	18.3	339	9.7
	平年比差	109%	79%	69%	+0.7
まいひめ	本年	63.8	16.7	347	9.4
	平年比差	117%	75%	72%	+0.9

湖南地区の調査結果

1 生育概況 草丈は長く、茎数は少ない

気温は6月上旬より最高気温、最低気温ともに平年より高く経過しました。

7月15日時点の湖南町の水稻は、草丈は平年に比べ長く、茎数は平年に比べ少なくなっています。ただ、幼穂の状況から、まいひめの出穂は8/3頃から、あきたこまちの出穂は8/6頃からと見込まれます。

2. 天気予報

東北地方 1か月予報 (平成23年7月15日 仙台管区气象台 発表)

平年と同様に曇りや雨の日が多いでしょう。向こう1か月の降水量は、多い確率50%です。

週別の気温は、1週目は、高い確率60%です。2週目は、平年並または低い確率ともに40%です。

3. 作業のめやす



水管理

間断かん水 (低温時深水)

穂肥

まいひめ

あきたこまち

まいひめ
出穂(8/3~)

こまち出穂
(8/6~)

4. 水管理

- 中干し後は、間断かん水により根を健全に保ちましょう
(低温の恐れがある場合は深水にしましょう)。
- 出穂期以降に高温が続く場合は、できるだけ掛け流しとし水田の水温・地温を下げ根の活力を維持しましょう。

水管理期間中の水田水温と水田地温

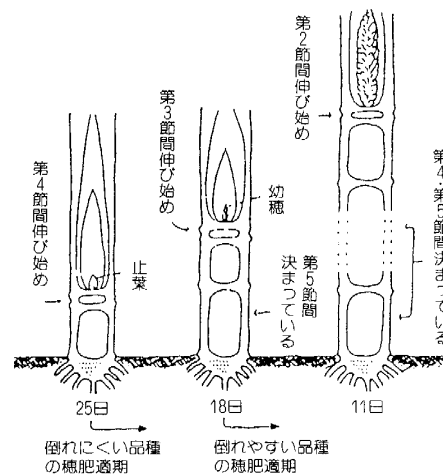
区名	最高(°C)		最低(°C)		平均(°C)	
	水温	地温	水温	地温	水温	地温
掛け流し区	25.4	24.9	21.4	21.6	23.1	23.1
常時湛水区	28.4	26.2	23.4	24.1	25.4	25.1
間断湛水区	30.4	29.0	22.3	23.3	25.5	25.8

(2000年 福島農試)

5. 穂肥「遅れずに適量の追肥を」

- (1) あきたこまちは出穂 20 日前に、チツソ成分 2kg/10a が基本です。葉色の極端に濃いほ場は、量を減らすか時期を少し遅らせましょう。
- (2) 有機質肥料はゆっくり効くので、5～7日早く施用しましょう。
- (3) 出穂 5 日前以降の実肥は、玄米のタンパク質が高まり、食味が低下するので行わないでください。

* 基肥一発の場合は、原則として穂肥は行いません。



追肥のチツソ成分 2 k g の目安

(あきたこまち、10 a あたり)

肥料銘柄	N-P-K	施用時期 (出穂前)	施用量
NKC6号	17- 0-17	20 日	1 2 k g
IB4号	15- 4-15	20 日	1 3 k g
こおりやま2号 (有機入り)	10- 2-10	23 日	2 0 k g

幼穂長による出穂前日数の判定

幼穂長	出穂前日数	備考
1.5mm	24 日	幼穂形成期
2.0mm	20 日	
40.0mm	15 日	減数分裂期

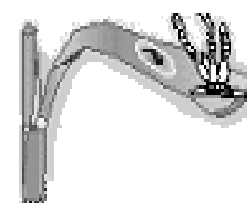
<参考：倒伏懸念がある場合の穂肥対応目安>

品種名	倒伏懸念がある場合の対応		穂肥量の目安	
	穂肥時期の目安 (出穂前日数)	穂肥量の目安 (窒素成分)	標準的穂肥適期 (出穂前日数)	穂肥量 (窒素成分)
あきたこまち	12 日前	1 kg/10 a	20 日前	2 kg/10 a

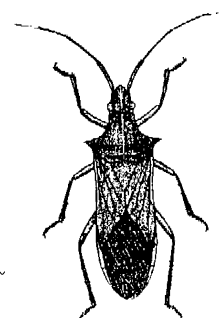
6. 病虫害防除

(1) いもち病防除

- ① コラトップ粒剤5などで予防する場合は、今すぐに散布しましょう。
- ② 田植え時に長期持続型殺虫殺菌剤を箱施用した場合でも、効果は徐々に落ちてきます。
穂いもちは別に防除を行う必要があります。



- (2) 稲こうじ病は毎年同じ田で連続して発生します。モンガリット粒剤(出穂 21～14 日前)やZポルドー粉剤 DL(出穂 10 日前まで)等で防除しましょう。
- (3) 斑点米カメムシ類の注意報がでました(カメムシの発生はやや多いと予想されています)。例年発生が多い地域では、乳熟期と糊熟期に殺虫剤で防除しましょう。
※ミツバチなどの有用昆虫に対し長期間影響のある薬剤があるため、養蜂業者との連絡(所有者不明の場合は県中家畜保健衛生所 TEL923-1661)を密にし、事故のないようにしましょう。



ホソハリカメムシ

※ 農薬は決められたとおり使用しましょう。他の農作物への飛散に注意しましょう。

この資料は、平成23年7月19日現在の農薬登録情報に基づいて作成しています。